

教えて！だいふくん！

～大分県社協の採用に関するQ & A～



過去の採用実績について教えてください。

年度毎にバラツキがありますが、過去5年間では平均すると1年に2名のペースで採用が行われています。特にここ数年は、定年退職になる方が多かったこともあり、若干多く採用されている印象です。



職員の年齢構成はどのようになっていますか？

大分県社協では、正規職員のほか、専門員・事務員といわれる非常勤、常勤の嘱託職員の方々や、他団体からの出向等を含めて総勢80名ほどが働いており、正規職員は現在30名在籍しています。今年の段階では、半数の15名を20代、30代の職員が占めており、活気のある職場になっています。



「事務職」「総合職」ってどういう仕事をするんですか？

事務と聞くとパソコン作業とか経理とか、そういったイメージがあるかもしれませんが。もちろん、パソコンを使って資料作成をしたり、オンラインで研修を受けたりすることもあります。

しかし、それだけではなく、災害支援はもちろん、高齢者や障がい者のスポーツ大会を開催したり、子ども達と一緒に農業体験を行ったり、留学生と一緒に食料配布をしたりと、他団体の方と一緒に仕事をすることも多々あり、刺激がたくさんあります。



大分市以外からの通勤も可能ですか？

大丈夫です。職員の中には別府市や由布市、臼杵市から通っている方もいますし、以前は日出町や豊後高田市から通勤している方もいました。

また、近隣に職員用駐車場を確保(大津町:月極有料、明野:無料)しており、大半の方が車で通勤しています。

通勤手当は距離に応じて支給されます(2km以上から支給対象。最大55,000円)



福利厚生について詳しく教えてください。

産休や育休をはじめ、退職金制度や健康診断など、基本的なところはしっかりと整備されており、年次有給休暇は20日間、夏期休暇が5日間とれます。特に年次有給休暇は時間単位でも取得できますので、お子さんのお迎えや、急に病院に行かなくてはならない時にも対応できます。

加えて「ソウェルクラブ」という福利厚生センターの事業に加入していますので、永年勤続や資格取得のお祝い、慶弔給付金なども充実していますし、その他にも、全国のホテルやレジャー施設が割引で使えたり、県内で開催されるコンサートチケットや、映画館の割引チケットなどがもらえることもあります。福利厚生の仕組みがしっかりしているため、仕事とプライベートの両立も可能です。



社会福祉協議会の職員は公務員じゃないんですか？

県民の皆さんからもたびたび「公務員なの？」と聞かれますが、実は違います。社協は、社会福祉法に規程された公共性の高い民間団体です。

しかし、県などの行政から補助金・委託金を受けて行う業務も多いので全く関係がないわけではありません。

行政と協力・連携しながら、大分県内の「ふだんのくらしのしあわせ」の実現に向けて仕事をしています。



社協の仕事をするうえで、心掛けていることはなんですか？

社協は文字どおり「協議会」なので、様々な団体、施設、関係者と協働して事業を展開しています。最も大事なものは、この協働体制ですから、日頃から「相手の立場にたって考える」ということを心がけておかなければなりません。

最終目標は何であり、そのために今なにが必要か、ということ意識しながら、自分の組織だけではなく、関係者のために、地域のために、いま何をすべきか、ということを考えていくことが必要だと思えます。



大分県社協として、力を入れて取り組んでいることはなんですか？

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で生活にお困りごとを抱えた方々への支援として、生活福祉資金の貸付や、フードバンクを活用した食料品の提供、各社会福祉法人や市町村社会福祉協議会との協働による生活困窮者自立支援等について精力的に取り組んでいます。

また、地域共生社会の推進に向けた人材養成や体制整備、福祉人材確保・育成に向けた取組み、災害支援などについても引き続き、力を入れています。



県社協で働くために、必要な資格などはありますか？

必ず取得しておいた方が良いのは「自動車」の運転免許です。県社協では、災害発生時には現地に向かいますし、平時の活動においても、県内外の色々なところに出かけて、イベントや研修会、会議などがあるので、車の運転は必須です。

福祉系の資格(社会福祉主事や社会福祉士)や、会計処理に関する知識については、入職後に取得することも可能です。

その他、人前で話す機会が多いので、「臆せず人前で話せる度胸」があると良いと思います。



外に出ることも多いということですが、どのくらいの頻度でしょうか？

部所によって異なります。

例えば、地域福祉部や市民活動支援部は、研修や会議、外部での講義などが非常に多いですが、逆に総務企画情報部や、福祉資金部などについては、外にばかり出ていると事業運営が滞りますので、外に出る機会は少なくなっています。

とはいえ、災害時などには、県社協総出で対応にあたりますので、どこの部所にいるかは関係なく、職員全員体制で支援を行います。(県内外問わず、1週間ほど現地に赴くこともあります。)

総勢80名強の小さな組織になりますので、部所横断的に行うイベントや事業もたくさんあります。